

リスク管理

情報システム開発の外部委託において、品質、価格、納期等の条件を満たす委託先を選定することはプロジェクト成功のために重要である。満足できる選定には、開発委託に関する自社の要望をまとめた提案依頼書の品質に加え、専門家である百戦錬磨のベンダーに対応するため委託先選定作業も重要となる。



委託先選定では、「委託候補ベンダー選定」「提案依頼書説明会の実施」「質疑応答対応」「ベンダー提案書受領・評価」「提案説明会の実施」「評価結果総括・委託先決定」と作業を進める。この際、「費用を重視しすぎて開発能力の劣るベンダーを選定する」「委託先決定までに時間・労力を掛けすぎる」

リスクマネジメント

ABC

外部委託先選定時の評価

委託先選定作業ステップとその重要ポイント

委託候補ベンダー選定	●委託候補数は5～6社以下に限定 ●候補ベンダー、パッケージ情報の事前収集
提案依頼書説明会の実施	●提案依頼書・シート等必要資料の準備・提示 ●委託先選定手続きの明示
質疑応答対応	●質疑応答内容の参加ベンダー全社への共有 ●自社対応窓口の一本化
ベンダー提案書受領・評価	●提案評価シートの事前準備・社内共有 ●見積りの横並び比較による過不足調整
提案説明会の実施	●ベンダープロジェクト開発担当者の参加・説明 ●開発決裁者、対象業務関連部署の参加
評価結果総括・委託先決定	●選定結果（提案評価シート等）の社内共有 ●委託先懸念事項を整理し、契約前に解消

「選定結果に社内から不満が出る」などの問題を回避するため、特に重要な点を整理する。

「委託候補ベンダー」が、参加ベンダーが多すぎると選定作業が煩雑に

なり、收拾がつかなくなる。委託候補は、6社程度が限度と考える。「ベンダー提案書受領・評価」では、提案書を受領し、評価を実施する。特定の提案書に影響を受けずに客観的な評価を実現するため、提案依頼書を基に事前に提案評価シート（採点表）を準備する。提案評価シートは、提案依頼書の依頼項目の中から重要なものを評価項目として選定し、重要度に応じて点数配分を設定する。評価項目・点数配分によって評価結果は変わるため、提案評価シートについて事前に社内での同意を取っておきたい。「提案説明会の実施」では、ベンダーからの提案内容説明、提案システ

ムのデモンストレーション、質疑応答を実施する。プロジェクトの成否は人に依存する部分も大きく、実際にプロジェクトを担当するプロジェクトマネジャーやシステムエンジニア（SE）に説明をしてもらいたい。説明の仕方・質疑応答の対応などから、自社のプロジェクトを委託するに足る人物が判断する。

委託先選定作業では、周到な準備に加え、ベンダーに対して妥協を許さない姿勢でタフな交渉を行う必要がある。しかし、委託先選定は、自社プロジェクトの命運を左右する重要なパートナーを見つめる作業でもある。委託先ベンダーとの信頼関係を築けるよう真摯な態度で対応することも忘れないで欲しい。

（日本総合研究所）

総合研究部門 渡邊 敬之（研究員）

6社限度に提案・説明会